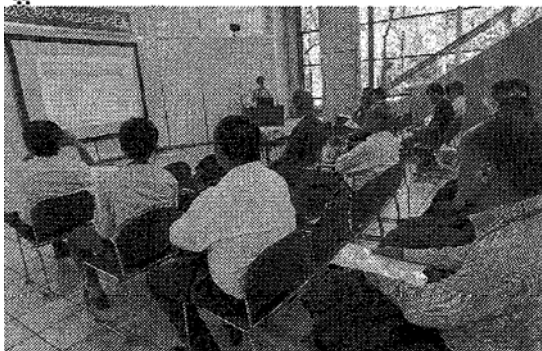


LPG車導入による経費削減・BCP対策を訴求した



カグラベーパーテック  
(本社・尼崎市、玉井健一社長)は9月7、8日、神戸国際展示場で開かれた「国際フロンティア産業メッセ2017」(兵庫県、神戸市など主催)にブース

LPG車普及へ

## 自家用スタンドPR



宮寺保如部長

### カグラベーパーテック

### 国際産業メッセで

を出展、企業関係者に自家用オートガススタンド「オートコンポ」を訴求した。ブースに「ガソリン代最大70%削減のチャンス」と掲げ導入事例を紹介。優位点を示す動画も流した。宮寺保如営業統括部新規事業部長は「11月に名古屋で開催される異業種交流展示会にも出展する。LPG車とスタンドの普及に向け提案活動を」を講演。「ガソリンよりもさらに安価な自動車燃料がある。その答えはLPGガス」と来場者に分かりやすく前置きした。レギュラーガソリンの全国平均価格リッター128円とオートガスの参考価格同53円を比較し、ガソリン車を複数保有する企業に対し、燃転による経費削減を訴えた。「1日100キロ走行するガソリン車1台をLPG車に替えれば年間27万円コストダウンできる。車が20台あれば540万円の燃料費削減になり、経常利益率1%であれば毎年5億4千万円の売り上げを生み出し続けることと同じ」と経済性を強調。LPG車とオートコンポを自社保有すれば有事の際にも企業活動を継続でき、「BCP対策を図れる」と指摘した。

動に注力する」と話す。8日は宮寺部長がプレゼンコーナーに登壇し「LPGガス自動車導入による経費削減事例紹介と自家用スタンド保有によるBCP対策」を講演。LPG車とオートコンポを自社保有すれば有事の際にも企業活動を継続でき、「BCP対策を図れる」と指摘した。